

第3回 たま エンド・オブ・ライフ・ケア交流会 が開催されました

2014年11月8日(土)14時～16時半、国立看護大学校(東京都清瀬市)において、第3回「たま エンド・オブ・ライフ・ケア交流会」が開催されました。

今回は、病院、訪問看護ステーションなどの看護職・福祉職の方々31名が参加されました。「退院支援・退院調整を『困難事例』から考える」をテーマに、語り合いました。



①本交流会代表 挨拶

開催にあたり、地域の看護職が交流を通して知恵を出し合い、支え合う意義が強調されました。(救世軍清瀬病院 看護部長 笠原嘉子)



②活動報告

本交流会のこれまでの活動報告、今後の予定説明、ホームページの案内などがありました。(国立看護大学校 教授 綿貫成明)

③話題提供：日々の実践で取り組んでおられる「退院調整・退院支援・地域連携」の実際と工夫、取り組みに困難を感じた事例の振り返りなどについて、ご発表頂きました。



公立昭和病院
がん相談支援センター
小湊裕美子氏



社会福祉法人信愛報恩会
信愛病院・医療社会事業課
井上孝義氏



訪問看護ステーションここね
吉田知子氏



司会：
国立看護大学校
教授 飯野京子

④グループの話し合いと全体での共有

小グループで、各自の日々の実践を振り返りながら、困難事例への対応のアイデアを話し合いました。当事者本人・家族と医療福祉職が、必要なタイミングで必要な意思確認を積み重ねる重要性を再確認しました。

(ファシリテーター：

救世軍清瀬病院 緩和ケア認定看護師 大石恵子)



参加者の感想

「皆さんが同じような困難・苦労を体験していることがわかりました。」

「頑張っている他施設の様子を知り、刺激になりました。」

「患者さん・ご家族・他職種へのアプローチの仕方について、実例が聞けて参考になりました。」

「肯定的な言葉がけの大切さ、待つことの大切さ、自分のこととして関わる大切さを改めて実感しました。」

「退院調整のコツや、困難事例に対する解決法についても、今後話し合いたいです。」

次回のご案内

2015年3月28日(土)14時～ 於 国立看護大学校

テーマ「今、あらためてコミュニケーションとは」

詳細は <http://tama-elc.umin.ne.jp/> にも掲載します。

次回もお待ちしております。

企画準備・受付・ファシリテーター・写真撮影 等
笠原嘉子・大石恵子・相良君映 (救世軍清瀬病院)
河正子 (NPO法人緩和ケアサポートグループ)
飯野京子・綿貫成明・小山友里江・山手美和
(国立看護大学校)